

## 令和3年度 第1回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和4年2月24日（木） 14:00～16:00
- 2 場 所 役場 第2庁舎
- 3 出席者  
(出席委員) 高橋委員長、下段委員、石田委員、松岡委員、袴田委員、  
小貫委員、今堀委員  
(町及び事務局) 後藤町長  
【事業推進部】 乗木事業推進部長、高田事業推進課長、  
事業推進課 坪井主幹、中鉢主任
- 4 傍聴者 2名
- 5 会議概要  
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
  - 後藤町長挨拶
  - 委員長、副委員長選出  
委員長に高橋委員、副委員長に和田委員を推薦する声があり、決定。
  - 議 事  
事務局から「①新庁舎建設検討委員会とは②新庁舎基本構想について③令和4年度の主な検討内容④進め方、検討スケジュールについて」を資料に基づき説明した。  
説明後、追加資料として、立地適正化計画の概要版を配布し、居住誘導区域、都市機能誘導区域の追加説明を行った。
  - 質 疑  
委 員：庁舎の完成予定は計画に入っていないのか。  
事 務 局：具体的な内容が決まらなければ、今後の予定について決めることができないため、構想にははいていません。  
委 員：庁舎建設候補地として4か所挙げられているが、その中から決めるのか。  
事 務 局：役場庁舎は老朽化しており、防災拠点になることを考えると、早期に建設できること、また財政状況から安価に建設できること、そういったこと重視すると町有地となり、一定程度の面積をもつ町有地が3か所あるということ。今後そういった条件に合致する場所がでてきた場合は、候補地として検討していくこともありえます。  
委 員：基本構想の中で、庁舎の規模は複合化すると6,400㎡と記載があるが、複合化が前提として話し合っていくのか。  
事 務 局：庁舎以外の公共施設も老朽化が進んでいる。分けて施設を作っていくと同じような検討をその都度することになる。複合化して1つにまとめた方が効率的

で、また、利用者の利便性も向上することもあるので、まずは複合化として提案している。

委員：その複合化の協議のタイミングはいつになるのか。庁舎と図書館という別のカテゴリーのものを1つに括って規模を大きくし、お金をかけていくのは、疑問が生じる。

事務局：複合化について補足させていただきたい。今まで図書館・文化センターが欲しいとの声はかなり前からあったが、財政的な理由により後回しになっていた経過もある。庁舎を建設するなら、同じタイミングで作った方が効率的として、構想の策定を始めた。委員ご指摘のとおり、規模が非常に大きな施設になり費用も時間もかかる可能性があるが、来年度中に方向性を定めていきたいので、ご意見をいただきたい。

委員：いまの部分に関連して、違う視点から。まず意見として、図書館や文化センターの想定の面積だとかなり狭く、ニーズに合わない使われな施設が出来てしまうことを懸念している。もし、図書館、文化センター機能の分の面積を減らすと、建築費が約40億円まで下がるメリットがあり、また、いまはシンプルな役場機能のみにして、10年後デジタル化が進み、必要となった機能が出た時のために、余力を残していく方法もあると考える。

質問ですが、PFI方式については、事業内容から参入が難しいと回答を得ていますと記載があるが、従来方式とリース方式の2つの手法で検討していくのか。また、リース方式の場合、プレゼンをしてくれる企業がどれくらい集まる想定をされているのか。

事務局：意見についてですが、面積については決まったものではなく、これからご意見をいただいて、決めていくものになります。

質問について、実質2択なのかといったことですが、PFIは他の2つの手法よりも建設スピードが遅く、また、過去の事業者へのヒアリングから事業参加は難しいとの回答を得ています。リース方式は実績は少なく、あまり知られていない制度になりますが、複数の事業者がいます。

委員：議場について、年間の使用頻度を考えると文化センターとの併用や、議会もYouTube配信していて傍聴人も少ないと考え、複数の機能として使える検討が必要だと思う。

事務局：せっかく頂いたご意見ですので、関連する内容について、情報提供をさせていただきます。議場の扱いというのは最近の庁舎建設の特徴的なところになっています。当麻町の庁舎は総木造づくりで、議場は多目的会議室として作られています。世の中の流れとして議場を他目的に使うのは、効率化の手法の一つです。

委員：事業手法は説明いただいたリース方式などがあるが、庁舎建設の建物に対す

る補助金はあるのか。

事務局：役場庁舎の建設に対する補助金はありませんが、複合化はそれをクリアする一つの手段で、文化センターを町民交流スペースという位置づけで複合化するとしたら、その町民交流スペースが補助の対象となるケースがあります。ただし、庁舎の規模や建築費がその分大きくなるため、みなさんと検討が必要になります。

委員：例えば町民交流スペースをいれたとして、リース方式になった場合も補助対象となるのか。

事務局：一般的な考え方でいくとリースというのは、建物の所有権をもつ民間事業者が建てるものに対しての補助は基本的に無いです。ただし、最近の都市整備の手法として、民間と一緒にあってそういった施設を建てますという動きに対する補助、あるいは、全体の建物のうち、何割かの所有権は官に移して、移した分の費用は官が負担しますといった方式がとれる場合に補助がとれる可能性があります。補助金の関係については、今後情報提供していきます。

#### ○その他

庁舎ほか、これまで使用してきた施設の中で、居心地のよい施設、建物等について、情報交換

委員からの主な発言

- ・江別蔦屋は、スターバックスがあつてよい
- ・親子で楽しめるようなスペースのある図書館
- ・以前、図書館を検討する委員会があつたが、結局図書室を図書館に名前を変えたただけだったことに、疑問があつた。
- ・別に作るとお金がかかるが、庁舎の中に面積の小さな図書館を作りましょという姿勢で進めていくのはよくない。
- ・石狩市の図書館にとっても感動した。子どもと一緒に何時間も過ごすことができる。
- ・図書館の面積が小さいとイメージしていたものと異なる場合がある。
- ・西当別小学校のときめきルームは全面ガラスで日当たりもよく良い
- ・道の駅や郵便局が北欧らしくてよい
- ・役場の中で職員以外も使えるおひさまのような施設
- ・札幌創生スクエアもガラス張り明るくおしゃれで、図書館もあつて当別に欲しい。
- ・光星高校も木材で木のぬくもりを感じられるし、中庭から四季を感じられるので、そのような庁舎もよい。
- ・当麻町の庁舎が木造でぬくもりを感じられてよい。シンプルで、一目で見渡せるほどの開放感がある。
- ・高知県梶原町では「森林作り基本条例」が2000年に制定された。小学校では校舎のいたるところで木が使われていて、机と椅子がプレゼントされる。

- ・この図書館は海外からも視察が来るほどで、だれもがのんびり過ごすことができる空間であることと、本を借りる以外のフリースペースで勉強したり、カフェやボウリング等の空間が素敵である。
- ・当別町内だと西当別コミセン大会議室と、ゆとりの会議室は様々な会合に使い、また駐車場も広くて使えてよい。
- ・道の駅も素敵でロイズの新しい施設も楽しみ
- ・石狩の図書館や恵庭のえにあすもすばらしく、当別にあったらいいなと思った。
- ・行政がサービスがしやすい建物を建てるべきである。また、複合施設を作るのであれば、図書館や文化センターも含めた、そこに行けばすべてが完結するような施設が良い。ただ、異なる営業時間の調整やメンテナンス費用も考えるべき。
- ・岩手県紫波町の庁舎がよかった。商店街の再生につながるような施設を希望

以上